

古川さん 庄原って遊ぶところがないっていうけど、土日はみんなどこで遊びよるん？うちは、備北丘陵公園の無料エリア「ふらり」とかひだまり広場(子育て支援センター)に行くぐらい。

山崎さん 子どもが小さい時はひだまり広場ばかり行ってたけど、最近は近所の子とも遊びたがようになってきた。

松田さん うちの3人連れてどっか行く元気ない(笑)。家の畑が広いからひたすら虫捕まえて遊んで。子どもは基本的に虫網さえあればどこでも遊べるよね。

古川さん いつも遊ぶ人を求めて外を彷徨ってる(笑)。

山崎さん 近所の田んぼのあぜ道を駆け回ったり、側溝でザリガニやイモリ、カエルを捕まえたり。自然と触れ合いながら遊べるのが嬉しい。

藤本さん 整えられた遊び場っていうのは少ないけど、ここじゃないとできん経験って貴重よね。

古川さん いい大学に入ればいい企業に就職できる学歴社会も終わって、AIもどんどん進化してる。これからは人間力を育てる子育てをしていきたい。イレギュラーなことに対応する力って、自然の中から学ぶことが多いんじゃないかな。

藤本さん ハウツーが通用しないのが自然の中での遊び。自分で判断しなければならぬことも多いから。この環境を活かして強くたくましい子になってほしいな。

山崎さん 庄原は虫が多いけど、ゴキブリ見んよ？ 大分の時はバンバン出よったけど。

松田さん 確かに!寒いからかな? なんにしてもありがたい(笑)。

古川さん はっとうじの数は尋常じゃないけどね(笑)。

松田さん はっとうじはお酢を入れた瓶を近づけると自分から入ってくるよ。近所のおじさん直伝の退治法。

藤本さん 虫の話、多くない?(笑)。庄原って子育て関係の事業も充実してるよね?

古川さん 不妊治療した時の助成金とか出産祝金とか、いろいろもらえるよね。お金の支援は単純にうれしい。保育所も学童保育も基本的に入れる。青森、栃木、大阪にも住んだけど、庄原の人は温かいよ。ぎゃん泣きした子ども外であやしたら、近所のおばちゃんがおもちゃ持って飛び出てきてくれる(笑)。

藤本さん 近所のおばちゃん、店のレジの人、看護師さん、みんな優しくて安心するよね。

古川さん 母が和歌山から来たとき「知らん人なのに普通に話しかけてくれた」ってびっくりしながら「なんかええなあ」と言ってたのを思い出す。

松田さん 地域の人との距離感が近いよね。みんなで一緒に伝統行事の大花田植えをしたり、小学校の運動会は町民運動会になって地域の人も参加する。楽しむことをみんな共有できるのって、やっぱりいいな一って思う。

古川さん 宅配便のおっちゃんも距離感近い。顔見知りになったら「今日おる?おらんのん?」って直接電話してくるし(笑)。

山崎さん 子連れだから行きにくいっていうお店もないよね。都会の密集地で子育てすると気を使うことも多いかもしれないけれど、どこか心に余裕がある感じはするね。

古川さん でも正直、子育て支援センターでみんなと出会わなかったら、私今頃、鬱やな。

松田さん 子育て支援センターは、遠足とかミニ運動会とか、お楽しみ会なんかの行事もあるし、子育てサークルも活動

しているから行きやすかった。いつも同じママに会うから、自然と仲良くなれるよね。

藤本さん 近所に年配の人はいっぱいおるけど、同世代の友達ができるのは大きいよね。

山崎さん 聞いてもらえるだけで救われることもたくさんあった。みんなで助け合いながら子育てしている実感が持てて、ひとりですべてやってるんじゃないと思えるんよ。

藤本さん 「ママ友は怖い」っていう世間のイメージだけで、外の世界に出るのはもったいないよね。よく聞くボスママとか見たことないもん。

古川さん 頼り過ぎず、頼られ過ぎず、いいバランスで成り立ってる。戦友って感じだね。

藤本さん ママたちのパワーは凄い。去年、先輩ママグループたちが立ち上がって小児科を新しく誘致した。それまでは、日赤病院しかなくて、待ち時間も凄く長いし診察も16時まで。学校が終わってから連れていってほぼ不可能。水曜の午後

は休診だし。

古川さん とにかく子どもの病院は苦労したね。

松田さん 小児科の負担を軽くするために新生児を診てくれる産科も復活したし、病児保育もできた。

山崎さん 先輩ママたちが声を上げて、私たちも署名活動したり市議会を傍聴しに行ったりして、活動に参加させてもらった。ママたちの声で子育て環境を改善させることができるってすごいことよね。

古川さん 議会を傍聴した時には、市長が市長室に招いてくれて直接、要望を聞いてくれたよね。

山崎さん そういう意味でも庄原市は自分たちの意見が言える子育てしやすい町と言えるんじゃないかな。

古川さん 田舎だから学校とか習い事とか、買い物する場所とか、いろんな面で選択肢は確かに少ない。でも田舎暮らしをチャンスと受け止めて前向きに捉えれば、都会ではできない子育てのメリットもたくさん感じられるんじゃないかな。

[制度] 子育て支援センター

子育てで家庭や地域の方が気軽に集い交流できる場です。子育てに関する相談、情報提供、子育て家庭の友達づくりや交流の場の提供、子育てサークルの活動等を支援します。



[制度] 出産祝金

新生児が出生した日以前に1年以上庄原市に居住し、さらに1年以上居住する意思のある保護者に支給します。第1子、第2子は15万円、第3子以降は25万円を支給します(令和元年8月現在)。その他の条件あり。



# ママたちの本音座談会

市外で生まれ育ち、庄原で子育てをしているママたち。彼女たちに庄原市の子育て事情はどう映っているのでしょうか。子育て支援センターで出会った仲よし4人組が、子育てについて本音をぶちまけます。



山崎 さつきさん

大分県出身。子どもは小学校1年生と4歳、やんちゃ盛りの男子が2人。結婚を機に庄原へ

松田 香さん

安芸郡熊野町出身。安芸郡熊野町出身。小学校1年生、4歳、2歳、3児のママ。結婚を機に庄原に移り住んで7年

藤本 貴子さん

兵庫県出身。結婚を機に庄原に来て12年。小学校4年生と小学校1年生男子の育児に奮闘中

古川 桂さん

和歌山県出身。ご主人の転勤で庄原へ。小学校1年生の娘さんと3歳の男の子のママ

虫網さえ持って出れば家の周りは全部遊び場

学校では学べないことも自然の中から吸収中

ママたちが団結した時の底知れぬパワーが凄い

地域の人との距離感が他の市町に比べて圧倒的に近い

庄原にだってフレッシュな若者はいっぱいいます!  
仕事を感じる魅力ややりがいはひとそれぞれ。  
「どんな時に幸せを感じるの?」「仕事の原動力は?」  
楽しみながらイキイキと働く3人の若者に聞きました。



入社  
4  
年目  
特別養護老人ホーム  
ハビネスビル  
介助員  
山岡 弘司さん  
Hiroshi Yamaoka

### 今年も資格取得にもチャレンジ 自分の意志でステップアップ

利用者の生活全般をサポートする介助員をしています。おじいちゃんやおばあちゃんに「ありがとう」と言ってもらえることがやっばりうれしい。今年も、3年の実務経験と研修を受講すると受験できる介護福祉士やケアマネジャーの資格にもチャレンジする予定。自分の意思でステップアップできる環境です。職場は家から車で5分ほどの場所にあつて、趣味や遊びの時間もたっぷり。友達もたくさんこっちにいるからプライベートも充実しています。



### 地域の人にそっと寄り添い 気軽に声を掛けてもらえる身近な存在になりたい

JAの窓口で、お客様に金融商品をご紹介する仕事。お客様にはご高齢の方も多いため、できるだけ分かりやすく丁寧に接することを心掛けています。「こんな風に話した方が伝わりやすい」とか「ここは強調しないと誤解されるかもしれない」とか、常にベストな伝え方を考えています。目標は「西口くん」と気軽に声を掛けてもらえる存在になること。一度故郷を出たからこそ分かった地元の人々の温かさに今度は僕が応えていきたいです。



入組  
2  
年目  
JA 庄原東城支店  
窓口担当  
西口 雅浩さん  
Masahiro Nishiguchi

### 困難を乗り越えた時の充実感は一とお 日々自分の成長を感じています

新商品の開発や既存商品のリニューアルなどを先輩方と一緒に手掛けています。リニューアルを担当したアップルパイを「今まで食べた中で一番おいしかった」とお客様に褒めてもらえた時は心の中でガッツポーズ(笑)。大学在学中に取得した管理栄養士の資格が活かせる今の仕事が好きです。今は雪室じゃがいもを使った新しいお菓子作りに挑戦中。開発から製造、パッケージデザイン、販売まで広く携われることは、絶対によい経験になります。



入社  
5  
年目  
道の駅たかの  
飲食グループ菓子工房  
渡邊 詩織さん  
Shiori Watanabe

#### 【制度】 就職に関する情報発信

庄原市では、「庄原でいきいき働く協議会」と連携して、地元での就職情報を発信します。詳しくは、「庄原でいきいき働く協議会」のホームページをご覧ください。



#### 【制度】 帰ろうや倶楽部

会員になると、庄原市の企業や団体等から庄原市で暮らすために必要な情報が定期的に届きます。



なんよっ!  
庄原だけ  
それ  
庄原あるある  
みんなも「#庄原あるある」でSNSに投稿しよう!

庄原で生まれ育った人にとっては一般常識でも、  
一歩市外に出ると通じなかったり、  
驚かれたりした経験はありませんか?  
そんな、庄原でしか通じないローカルネタ集めました。

「ええしこ」「びっちゃこ」  
「あーにい」「こーにい」など、  
通訳が必要な言葉が多数あり

二次会は  
スナックになってくる

汽車は一両編成が当たり前

### 校内雪合戦大会は 恒例行事

雪が降ると高野町が  
全国ニュースに登場

渋滞はイルミネーションの期間だけ

大皿で出てくる

漬物は

「はっとうじ」の多さが  
尋常じゃない

星空がきれい★

軽トラがあったら便利

広島高速4号線の  
長いトンネルを抜けると  
都会の風景にテンションが上がる

「でんぷん」とは田園文化センターのこと

おばあちゃんには  
新品のことを  
「サラ」と言う

「クマ鈴」を  
全校生徒に配布

ワニを食べるのは  
全国的にみると普通じゃない。  
そしてワニはワニじゃない。サメ。

帰りたくなったら

Uターン・Iターン

住まいのこと、仕事のこと、何でも相談

**移住・定住トータルサポート窓口**

庄原市 企画振興部 自治定住課

〒727-8501 広島県庄原市中本町一丁目10番1号

☎ 0824-73-1257

(平日8時30分~17時15分)

✉ teiju@city.shobara.lg.jp

こちらから»



🌐 <http://www.city.shobara.hiroshima.jp/>